

＝緊急無料上映会＝

〈原発震災・ニューズリアル〉No.1～No.4／監督 藤本幸久／インタビュアー 影山あさ子／撮影 栗原良介／製作・著作 森の映画社・影山事務所

小出 裕章 (京都大学原子炉実験所)

「福島原発で何が起きているのか」

No.1 2011年3月25日インタビュー／56分

No.2 2011年4月14日インタビュー／60分

村田三良郎 (阪南中央病院副院長)

「被曝とは①」－体内被曝と体外被曝－

No.3 2011年4月15日インタビュー／49分

「被曝とは②」－子どもの被曝・労働者の被曝－

No.4 2011年4月15日インタビュー／54分

地震による甚大な被害の上に、さらに深刻な原子力災害が進行中です。本当は何が起きているのか－小出さん、村田さんの話は私たちに考える視座を与えてくれるはずです。ぜひ、ご来場くださいませ。

★小出裕章(こいでひろあき)さん★

専門は放射線計測、原子力安全。東北大学の原子核工学科在学中に原子力発電に関わる様々な問題点を知り、その後、伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JCO 臨界事故などで、放射線で被害を受ける住民の側に立って活動。原子力の専門家として、そのリスクや問題点についての研究活動に精力的に取り組んできた。3月11日の地震以降、福島原発について昼夜を分かたず奮闘し続けている。

著 書:「放射能汚染の現実を超えて」北斗出版、「隠される原子力・核の真実－原子力の専門家が原発に反対するわけ」(創史社) 共著書:「原子力と共存できるか」かもがわ出版、「環境と人間」東京教学社、「人間と放射線」社会思想社

★村田三良郎(むらたさぶろう)さん★

内科医。阪南中央病院副院長。1947年高知県で生まれ、1972年大阪大学医学部を卒業。大阪大学医学部附属病院で内科研修、同病院放射線科に勤務の後、1978年から阪南中央病院に内科医として勤務。水俣病、原爆被曝や原発労働者の被曝・労災、JCO 臨界事故の裁判に関わってきた。内部被曝にも警鐘を鳴らし続けている。

4月28日(木) 29日(金・休)

入場無料 (各回先着 80名)

エルプラザ・2F 環境研修室

(札幌市北区北8西3・札幌駅北口直結 TEL:728-1222)

申し込みは不要です。

各回 80名が定員です。先着順になります。

*各回 1時間前より整理券を配布します(初回は30分前)

*原発震災・ニューズリアルDVDは、当日、会場で購入できます(各1000円)。

★上映タイムテーブル★

4月28日	①10:00～	No.1	②11:30～	No.2	③13:00～	No.3	④14:30～	No.4
4月29日	①10:00～	No.1	②11:30～	No.2	③13:00～	No.3	④14:30～	No.4
	⑤16:00～	No.1	⑥17:30～	No.2	⑦19:00～	No.3	⑧20:30～	No.4

主催：ドキュメンタリー映画をみる会(札幌市厚別区厚別東4-8-17-12 影山あさ子事務所内)

問い合わせ：藤本幸久 090-8278-6839